

令和5年度 障がい者団体助成事業 助成事業 報告

番号	団体名	事業名	事業の目的・概要	助成金
1	一般社団法人障がい者アート協会	障がい者アート活用の為のサンプル品の製造配布	目的は、障害のある方が自分の作品を発信できる場所と経済的対価を得ることで社会に認知される仕組みを創出するための広報啓発。 SDGsに取り組む意思のある企業や交通広告業界をはじめとする57社の企業へ、障がい者アートを活用したノベルティサンプルを300部配布した。	200,000
2	社会福祉法人 茨城県視覚障害者協会	見えない方・見えにくい方のための福祉機器展	目的は、視覚障害者の日常生活の利便性の向上や、社会参加の促進や情報交換、広報啓発。 「見えない方・見えにくい方のための福祉機器展」を開催し、14の企業等が出展、約200人が来場した。出展企業等は来場者に対してAIやICTを活用した視覚障害者向けの福祉機器を紹介し、使い方のレクチャーなどを行った。	200,000
3	湘南西部スポーツクラブ	パラスポーツ体験会、車いすバスケスクールの広報	目的は、年齢や障害の有無に関わらず、誰でも車いすバスケットボールを楽しめる場作り、交流促進、情報交換、広報啓発。 月1回開催のバスケスクールを広報し、延べ250名が参加した。本団体の広報や、タウンニュース、「レアリア」等のメディアからの取材、ロコミ等が、他地域からの参加者増加につながった。	200,000
4	和歌山県中途失聴・難聴者協会	聴覚障害者と社会とのコミュニケーション活性化の為の「ノートラブル」普及活動	目的は聴覚障害者と社会とのコミュニケーション活性化のための交流促進、情報交換、広報啓発。 聴覚障害者と接客を行う方のコミュニケーションを円滑にする支援として、卓上カレンダー式の筆談具「ノートラブル」を施設や店舗等、合計115箇所に配布した。また、今後58箇所に配布予定である。	200,000
5	特定非営利活動法人かけはしねっと	支援機器の体験を通じて医療的ケア児の療養生活向上を図る事業	目的は医療的ケア児や重い障害のある子どもを育てる家族を対象とした支援機器に関する情報交換、広報啓発。 イオンモールつくばにて、当事者の親子を対象に、視線入力機器等の使用体験や相談会を実施し、65組153名が参加した。	200,000